

### 既存建築物において複数の専門工事（単独では対象外となっているもの）の施工管理を行った場合の申告書

申請日	令和	年	月	日
-----	----	---	---	---

申請者名	
------	--

私は建築士免許登録の申請を行うに当たり、以下の既存建築物で複数の専門工事について施工の技術上の管理を実施したことを申告します。

・記載する複数の専門工事は、例示コード表において単独で実施した場合に対象外と整理されているものに限り、また、実施した複数の専門工事が建築一式工事として届出を行っている場合は申告書の記載・提出の対象外です。

・この申告書の記載・提出は、工事範囲(取合い)又は工事期間が重複した結果、専門工事間の工程等の調整を図る必要があった場合に限り、ご注意ください。

・NO1～8には、実務経歴書に記載した実務(1)～(8)のうち、例示コード表で対象外となっている工事(建築一式工事または規定の専門工事以外)を記載してください。実務の実施期間が1ヶ月に満たない実務を複数行った場合は、「I 対象物件の名称等」に「○○邸 他○件」等と記載し、II以下には、主とする○○邸の物件所在地及び実施内容等を記載してください。

	I	II	III	IV	V	VI	VII
NO	対象物件の名称等	対象物件の所在地	実務経験工期	施工管理を行った複数の専門工事	複数の専門工事の施工管理を行うに当たり工事間の調整等に関する事項	専門工事の施工管理を行う際に参照した資料	専門工事の範囲・期間等の重複の有無
記入例	○○邸、A邸 等  【注】実務経歴書と同一の物件名を記入してください。	○○県○○市○○町○丁目○番地  【注】実務経歴書と同一の所在地を記入してください。	令和4年1月～令和4年3月  【注】着工から完工までの実際の工期を例に従って記入してください。	屋根工事・塗装工事及び防水工事、等 建設業許可毎に記入  【注】実施した工事は、建設業許可の対象別に記入してください。	◆全体工事の計画立案、各工事の工程管理・施工手順・施工内容の検討・確認・実施。 ◆各工事の品質管理の検討・確認・実施。 ◆居住者及び近隣への工事内容の説明の検討・確認・実施。 ◆危険防止・安全管理の対応方法の検討・確認・実施等  【注】複数の専門工事を行うにあたり、工事間で行った検討・確認・実施した調整に関する事項を記入してください	新築時の設計図書、改修工事の際に作成した施工図 等  【注】専門工事の施工管理を実施するに際し参照した資料を記入してください。	有 or 無  【注】専門工事の工事範囲、工事期間等が重複していた場合は、有を、そうでない場合は無を記入してください。
1							
2							

	I	II	III	IV	V	VI	VII
NO	対象物件の 名称等	対象物件の所在地	実務経験工期	施工管理を行った複数の の専門工事	複数の専門工事の施工管理を行うに当たり工事間 の調整等に関する事項	専門工事の施工管理 を行う際に参照した 資料	専門工事の範囲・ 期間等の重複の有 無
3							
4							
5							
6							
7							
8							